

日本特殊陶業株式会社

第119期中間 株主通信

2018年4月1日から2018年9月30日まで

IGNITE YOUR SPIRIT



進化のステージ、加速度的な発展を

株主の皆さまには、平素よりご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

2019年3月期第2四半期は、自動車関連事業では、米中貿易摩擦等の影響で中国市場が落ち込んでいることや北米の新車販売が減速していることで、当社製品の販売は期初予想を下回りました。一方で、赤字が続いていた半導体関連事業においては、「製品の選択と集中」などの施策を着実に実行してきたことにより、目標としていた単月での黒字化を達成することができました。事業環境が変化する中、自動車関連事業において販売予想が期初予想を下回る見込みのため、2019年3月期は期初の業績予想を見直し、売上高4,340億円、営業利益670億円を予定しています。

当社を取り巻く環境は、短期・中期的には環境規制

代表取締役
取締役会長兼社長
社長執行役員

尾堂 真一

の強化、新興国での自動車需要の拡大、半導体需要の増加に伴う関連製品の需要拡大などが予想されます。一方、長期的には内燃機関がピークアウトを迎え、電気自動車が普及することが予想される中で、競争環境の変化に対する感度を高めていく必要があります。このような中、2016年からスタートした5ヶ年の第7次中期経営計画も折り返し地点を過ぎました。2021年3月期における売上高5,200億円、営業利益1,000億円の目標に対して、既存事業においては、着実に成長を続けており、今後も拡大する事業機会を逃すことなく取り込んでいかなくはなりません。同時に新規事業の創出も課題であり、他社との協業やM&Aも含めた事業展開を検討してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

■ 長期経営計画「日特進化論」

第7次中期経営計画 2017年3月期～2021年3月期



10年後の日特

●ものづくり企業 ●高収益率企業 ●発展的企業 ●人“財”企業

医療分野の市場拡大へ

酸素療法システムの業界大手を子会社化し、 医療事業領域のグローバル化を加速

当社は、高い信頼性・耐久性が求められる分野で、セラミックスを核としてさまざまな技術を培ってきました。これらの技術を活かし、新規事業の創出に取り組んでいます。中でも、医療の事業領域においては、インプラント事業、酸素濃縮装置事業を展開しており、さらなる市場の拡大を目指しています。

このたび、米国CHARTグループ内で酸素濃縮装置事業を手掛ける、米国CAIRE社、英国Chart BioMedical社および中国Chart BioMedical(成都)社の全株式を取得し、子会社化することを決定しました。米国CAIRE社、英国Chart BioMedical社および中国Chart BioMedical(成都)社は、CHARTグループのバイオメディカルセグメントを担っており、酸素療法システムでは業界大手の一つです。米国CHARTグループ3社の製品ラインアップと当社が国内向け酸素濃縮装置で培った技術を活かし、今後は、グローバルでの販売を進めてまいります。

在宅酸素療法を受けている慢性呼吸器疾患の患者さまに濃縮酸素を供給します。

患者さまへ供給される濃縮酸素の原料となる空気は約20%の酸素と約80%の窒素等から生成されており、酸素濃縮装置ではこの空気を酸素と窒素に分離することで高濃度酸素を生成します。コンプレッサーで圧縮した空気をゼオライトと呼ばれるセラミックスに通過させ、窒素を吸着させることにより、酸素濃度を高めるものです。

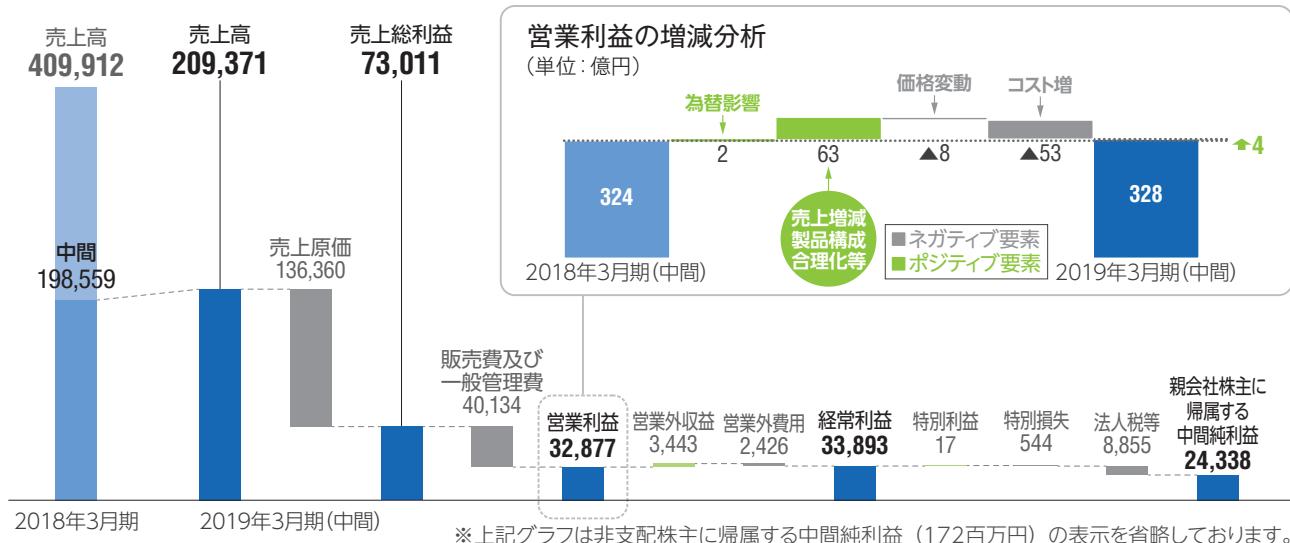


医療用酸素濃縮装置 [O₂フレッシュ-5G]

酸素濃縮装置
とは？

Financial Data 財務状況

■ 連結業績ハイライト (単位: 百万円)



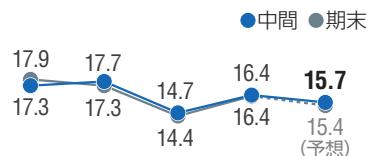
■ POINT

2019年3月期第2四半期の業績は、売上高と純利益で過去最高となりました。自動車関連事業では、北米・中国での新車販売が減速したことで、当社の販売は期初予想を下回りました。一方で、半導体関連事業においては人員削減等の合理化を推し進めたことで第2四半期で黒字化を達成しました。この結果、2019年3月期第2四半期の営業利益は前年同期比で増益となりました。

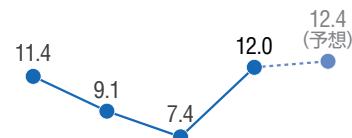
■ 通期予想 2019年3月期 (単位: 百万円)

売上高	434,000
営業利益	67,000
経常利益	69,600
親会社株主に 帰属する 当期純利益	49,500

■ 売上高営業利益率 (単位: %)



■ ROE (単位: %)

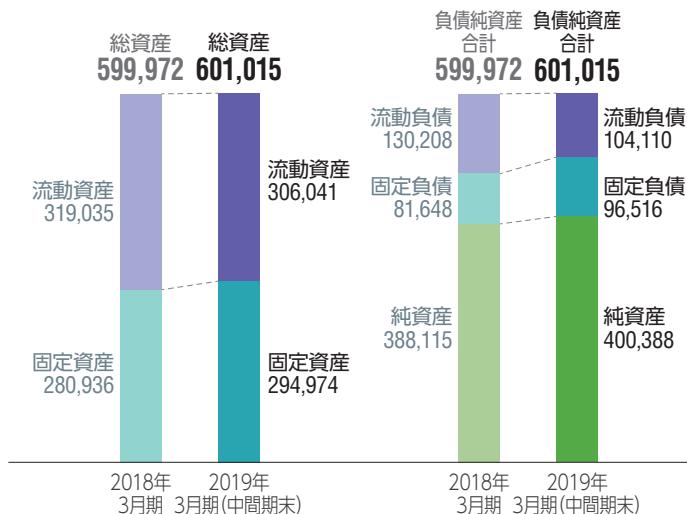


2015年3月期 2016年3月期 2017年3月期 2018年3月期 2019年3月期

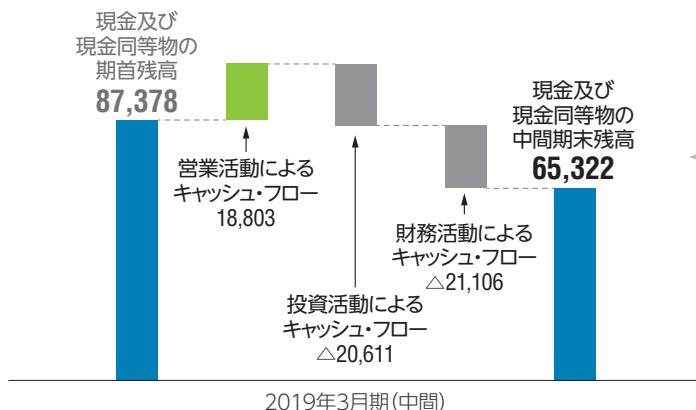
2015年3月期 2016年3月期 2017年3月期 2018年3月期 2019年3月期

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結貸借対照表 (単位：百万円)



■ 連結キャッシュ・フローの概要 (単位：百万円)



※上記グラフは現金及び現金同等物に係る換算差額 (858百万円) の表示を省略しております。

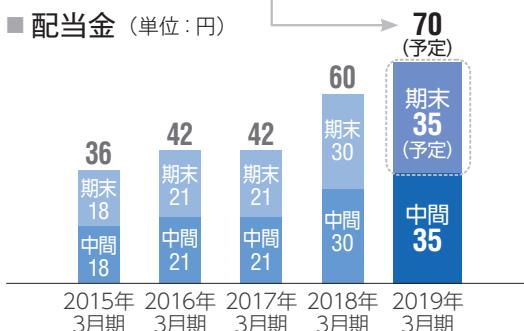
■ POINT

2019年3月期第2四半期では、財務活動によるキャッシュ・フローにおける支出は、社債の償還と長期借入金の返済により増加しました。また、投資活動によるキャッシュ・フローにおける支出は、固定資産の取得により増加しました。この結果、現金及び現金同等物は220億円減少の653億円となっています。

■ POINT

当社は、株主の皆様への利益還元を経営における最重要政策のひとつと認識し、安定的な配当を基本方針として、総還元性向を意識しつつ、配当性向30%以上を目指しております。中間配当金につきましては、前年より5円増配し、35円とさせていただきます。また、期末配当金につきましても同様に35円を予定しております。

■ 配当金 (単位：円)



詳細は当社WEBサイトの投資家情報ページでもご覧いただけます。▶ <https://www.ngkntk.co.jp/ir/index.html>

■ 自動車関連事業

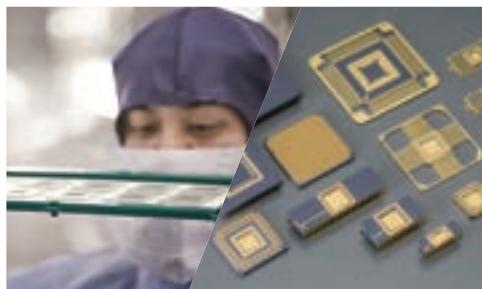


売上高 **1,772** 億円 営業利益 **329** 億円

7月～9月において北米・中国での新車販売が減速しており、当社の販売も期初予想を下回るものの、前年同期比としては堅調に推移しました。その中でも、インド市場、ASEAN地域において、補修用製品は好調な販売を維持しております。

この結果、前年同期と比べ当第2四半期の売上高は5.1%アップの1,772億93百万円、営業利益は0.8%ダウンの329億38百万円となりました。

■ テクニカルセラミックス関連事業



半導体関連 売上高 **88** 億円 営業損失 **2** 億円

前年同期に比べ減収となっていますが、スマートフォン向け部品等の出荷が伸びたことと、人員削減等の合理化を推し進めたことから前年同期に比べ赤字幅が減少し、この7月～9月では黒字を達成しました。

この結果、前年同期と比べ当第2四半期の売上高は3.6%ダウンの88億23百万円、営業損失は2億98百万円(前年同期は15億3百万円の営業損失)となりました。



セラミック関連 売上高 **203** 億円 営業利益 **21** 億円

半導体製造装置用部品および工作機械向けの出荷が好調なことから前年同期に比べ増収、増益となっています。

この結果、前年同期と比べ当第2四半期の売上高は14.6%アップの203億44百万円、営業利益は39.1%アップの21億42百万円となりました。

※他に、「その他」の区分として、売上高29億11百万円、営業損失19億4百万円があります。

※2018年4月より、従来、テクニカルセラミックス関連事業のセラミック関連に含めていた環境エネルギー分野・医療分野等の新規事業を「その他」へ変更しました。上記のセグメント別業績の概要は、2019年3月期の報告セグメント区分により作成しています。

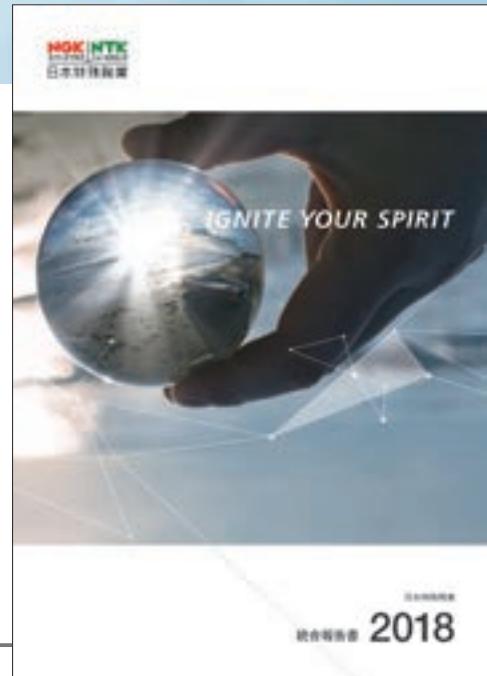
※記載金額はすべて連結ベースで表示しております。

「統合報告書2018」の発行

「ESG投資の拡大」「SDGsへの関心の高まり」「コーポレートガバナンスコードの改訂」など、企業に対して積極的な情報開示が求められる中、当社は昨年より統合報告書を発行しています。2018年発行版は、事業戦略や財務戦略、人事戦略について昨年よりさらに充実を図り、担当役員などへのインタビューを実施しています。

今後も、ステークホルダーの皆さまとの良質なコミュニケーションを目指し、対話を続けてまいります。

「統合報告書2018」



詳しい内容はこちらからご覧いただけます。

▼ https://www.ngkntk.co.jp/ir/library/integration_report.html



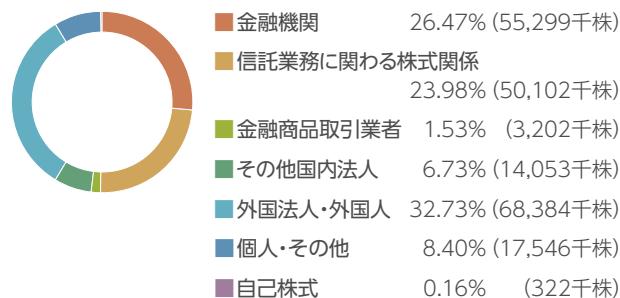
Stock Information 株式データ (2018年9月30日現在)

資本金	478億69百万円
発行可能な株式の総数	390,000,000株
発行済み株式の総数	208,911,620株
株主数	13,299名
大株主	

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
明治安田生命保険相互会社	16,794	8.05
第一生命保険株式会社	16,752	8.03
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	13,569	6.50
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	10,295	4.93
全国共済農業協同組合連合会	7,524	3.60
株式会社三菱UFJ銀行	6,541	3.13
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社トヨタ自動車口	3,929	1.88
野村信託銀行株式会社(投信口)	3,570	1.71
日本生命保険相互会社	3,563	1.70
TOTO株式会社	3,433	1.64

持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別持株比率



事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京・名古屋(第1部)
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.ngkntk.co.jp/ir/public_notice/ (ただし、事故やその他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞および中日新聞に掲載いたします。)
(ご注意)	<ol style="list-style-type: none"> 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、同行へお問い合わせください。 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店にお問い合わせください。

NGK **NTK**
スパークプラグ ニューセラミック
日本特殊陶業



事業内容や財務情報の詳細は
当社WEBサイトをご参照ください。

<https://www.ngkntk.co.jp>



UD FONT



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。